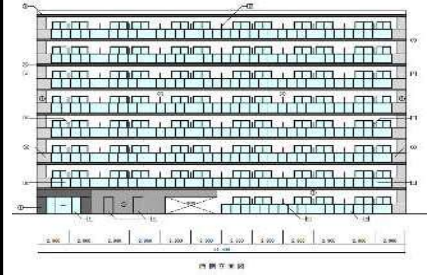


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 I使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)埼玉県朝霞市栄町2丁目計画 新築工事	階数	地上8F
建設地	埼玉県朝霞市栄町2丁目1094番2	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	91 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年9月27日
敷地面積	1,041 m ²	作成者	
建築面積	314 m ²	確認日	2024年10月23日
延床面積	2,361 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.0 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★ 環境品質 G 環境負荷 L BEE=1.0	標準計算 30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆ ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q のスコア = 2.9		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア= 3.3	Q2のスコア= 3.1	Q3のスコア= 2.2
LR 環境負荷低減性		
LR のスコア = 3.1		
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア= 3.4	LR2のスコア= 2.7	LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		
利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
開口部遮音性能:T-2以上。 居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している。	各住戸に電話、放送に対応した通信回線が引き込まれている。さらに、各住戸にはGbitクラスのブロードバンドを備えたインターネットサービスも提供されている。	特になし。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BEI=0.95。LED、複層ガラスを採用。	ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	ライフサイクルCO ₂ 排出率97% 光害対策ガイドラインの項目の過半を満たす。また、広告物照明は行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)埼玉県朝霞市栄町2丁目計画 新築工事

 ■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						2.9
Q1 室内環境			0.40	-	-	3.3
1 音環境		3.0	0.15	3.3	1.00	3.2
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音		3.0	0.50	3.6	0.50	
1 開口部遮音性能	開口部遮音性能:T-2以上。	3.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		-	-	-	-	
2 温熱環境		2.2	0.35	3.1	1.00	3.0
2.1 室温制御		2.2	0.50	3.3	0.50	
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。	1.0	0.38	4.0	0.38	
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		2.0	0.25	3.5	1.00	3.3
3.1 昼光利用		1.8	0.30	3.8	0.30	
1 昼光率	2.0%<[昼光率]	1.0	0.60	4.7	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		1.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御	カーテンと庇にて昼光制御している。	1.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		3.6	0.25	3.8	1.00	3.8
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。(床・壁・天井・天井裏の面積の合計の70%以上)	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.40	3.6	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能	居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している。	-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.1
1 機能性		2.2	0.40	3.8	1.00	3.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応	各住戸に電話、放送に対応した通信回線が引き込まれている。さらに、各住戸にはGbitクラスのブロードバンドを備えたインターネットサービスも提供されている。	-	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理		2.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.4	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり		-	-	2.6	0.50	
1	階高のゆとり	-	-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.4	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		4.0	0.20	-	-	4.0
日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。						
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.95	3.5	0.50	-	3.5
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
4.1	モニタリング	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制	-	-	-	-	
集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護		2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水		1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
1	消火剤	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率97%	3.1	0.33	-	3.1
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	
1	騒音	3.0	1.00	-	-	
2	振動	-	-	-	-	
3	悪臭	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	
1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制	-	-	-	-	
3	日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称

(仮称)埼玉県朝霞市栄町2丁目計BEE

1.0

BEEランク

★★★

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO₂の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア

3.1

+

2.3

=

5.4



重点項目の各スコアの合計点

がんばろう
6.0未満良い
6.0以上非常によい
6.8以上すばらしい
8.0以上

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO₂の削減

スコア平均 3.1

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア 3.1

ライフサイクルCO₂排出率97%

(2) 緑の保全・創出

スコア平均 2.3

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)

1. 生物環境の保全と創出

スコア 1.0

Q3 室外環境(敷地内)

3. 2 敷地内温熱環境の向上

スコア 3.0

LR3 敷地外環境

2. 2 温熱環境悪化の改善

スコア 3.0

特になし。

 : 入力欄